



関係機関との連携による  
社会科学習の充実に向けて

平成28年3月  
熊本県教育委員会



## 1 本資料の主旨

『小学校学習指導要領解説 社会編』には、廃棄物の処理にかかわる対策や事業を進めるうえで欠かすことのできない清掃工場等の施設を見学したり、そこで働く人々から聞き取り調査したりする等の学習活動が示されています。

本県においては、学校・地域・児童の実態に応じて創意工夫のもと特色ある社会科授業が実践されています。しかし、施設への移動が困難であるなどの理由で見学や聞き取り調査等が容易に実施できない学校もあります。

そこで、廃棄物処理に関する関係機関の出前講座等を活用した授業実践により、社会科学習のさらなる充実が図れるものと考えています。

## 2 平成 27 年度一般社団法人熊本県産業廃棄物協会「環境出前講座」の実施状況

### (1) 環境出前講座の目的

環境出前講座を実施し、児童が実際にごみの分別作業を行ったり、ごみ収集車の仕組みを学んだりするなど、廃棄物処理について体験的に学ぶ機会を提供する。

### (2) 環境出前講座の内容

- ①不法投棄の現状を知る (10 分)
- ②ごみの分別、排出量を知る (25 分)
- ③3Rについて学ぶ (10 分)
- ④収集・運搬車を見る (20 分)
- ⑤自分たちができることを考える (25 分)

### (3) これまでの実施状況

平成 25 年度 (1 校) 上天草市立今津小学校

平成 26 年度 (4 校) 甲佐町立乙女小学校, 上天草市立上小学校, 熊本市立川上小学校, 南阿蘇村立久木野小学校

平成 27 年度 (6 校)

- ①水俣市立水俣第二小学校
- ②山都町立潤徳小学校
- ③御船町立滝尾小学校



④天草市立本町小学校



⑤熊本市立河内小学校



⑥合志市立西合志東小学校



## 3 小学校第 4 学年社会科 (3) ア「飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理と自分たちの生活や産業とのかかわり」の指導例

### (1) 単元の目標

ごみの処理や利用にかかわる対策や事業に関心をもち、ごみの処理や利用と自分たちの生活や産業が深くかかわっていること、これらにかかわる対策や事業が計画的、協力的に進められ、地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを理解するとともに、地域社会の一員としてごみの減量やリサイクルなど自分たちにできることを考え、進んで協力しようとする態度を養う。

【小学校学習指導要領解説 社会編より抜粋】

## (2) 単元の評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみの処理にかかわる対策や事業に関心をもち、意欲的に調べている。</li> <li>地域社会の一員として、ごみの減量や資源の再利用などの取組に協力しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみの処理にかかわる対策や事業について、学習問題や予想、学習計画を考え表現している。</li> <li>ごみの処理にかかわる対策や事業が地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを自分たちの生活と関連付けて考え適切に表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設・設備などを観点に基づいて見学・聞き取り調査を行ったり、地図や統計などの資料を活用したりして、ごみの処理にかかわる対策や事業について必要な情報を集め、読み取っている。</li> <li>調べたことを白地図や作品などにまとめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみの処理と自分たちの生活や産業とのかかわりを理解している。</li> <li>ごみの処理にかかわる対策や事業は計画的、協力的に進められていることを理解している。</li> <li>ごみの処理にかかわる対策や事業が地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持・向上に役立っていることを理解している。</li> </ul>

【文部科学省国立教育政策研究所 平成 23 年 11 月「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料」より抜粋】

## (3) 単元指導計画例

	小単元	主な学習活動例
つかむ	①ごみを分別する	○種類別のごみの量のグラフから考えたことを話し合う。
	②ごみ置き場の様子	○ごみ置き場を見学して、気づいたことを発表し合う。
	③ごみのゆくえ	○ごみのゆくえを考えながら、学習問題をつくる。
調べる	④⑤もえるごみのゆくえ	○清掃工場を見学して、わかったことをノートに整理する。
	⑥⑦もやした後のくふう	○ごみを燃やした後の灰がどのように処理されるかを調べる。
	⑧⑨ごみが生まれ変わる	○資源物や粗大ごみのリサイクルについて、リサイクル施設を見学して調べる。
	⑩⑪ごみしよりがかかえる問題	○ごみの処理が抱える新しい問題について調べ、わかったことを発表し合う。
まとめる	⑫グループでまとめる	○これまでの学習でわかったことや考えたことを発表し合う。

いかす	⑬⑭自分にできることを考える（本時）	○ごみの分別体験やごみ収集車の見学を行う。 ○ごみを減らすために自分にできることを考え、発表し合う。
-----	--------------------	---

環境学習のまとめとして実施し、第5学年で実施する「水俣に学ぶ肥後っ子教室」につなげる。

(4) 本時の学習

①目標

ごみの処理や利用が自分たちの生活と深くかかわっていることを理解するとともに、地域社会の一員としてごみの減量やリサイクルなど自分たちにできることを考え、進んで取り組もうとする態度を養う。

②展開

教師

【ポイント①】

○ 前時の振り返り、課題の把握などについては、児童のこれまでの学習状況を踏まえて行いましょう。

【ポイント②】

○ すべての児童が分別の体験をできるように、「体験時の約束事」等を事前に打ち合わせておきましょう。

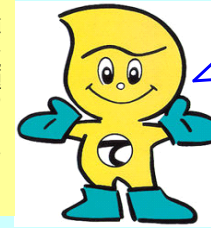
【ポイント③】

○ ごみ収集車の見学では、質問する時間を設定し、自ら学習課題を設定・解決しようとする態度を育成しましょう。

【ポイント④】

○ 学習活動4では、児童自身が実行可能で具体的な取組を考え、表現できるように指導を工夫しましょう。

適正処理のマニキュア  
てき丸くん



この講座を活用したい時は、右のアドレスにアクセスしてみてください。

【問い合わせ先】 一般社団法人  
熊本県産業廃棄物協会  
<http://www.kuma-sanpai.or.jp/>

産業廃棄物協会

【ポイント⑤】

○ 児童に分かりやすい「話し言葉」と「書く言葉」が必要となります。小学校4年生に合わせて説明を行いましょう。

【ポイント⑥】

○ 熊本県や自分の住んでいる市町村のごみの量などに関するクイズを出すなどして、児童の関心を高めるようにしましょう。

【ポイント⑦】

○ ごみを分別した結果、どのように再資源化がなされるかを実物を用いて説明し、分別の目的について理解を深めましょう。

【ポイント⑧】

○ 児童から出された意見に対して、認めたり励ましたりすることで、児童の意欲をさらに高めましょう。

過程	時間	形態	学習活動	指導上の留意点		●評価
				◆【教師】	◇【産廃協会】	
導入	20	斉	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時までの学習の振り返りをする。</li> <li>1 ごみの排出量や不法投棄等の現状について話を聞く。</li> </ul> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ごみをへらすために、私たちにできることは何だろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 単元全体の学習について振り返り、本時の学習に見通しを持たせる。【ポイント①】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 児童が実感しやすいように、住んでいる市町村の身近な事例について紹介する。【ポイント⑤⑥】</li> <li>◇ 取組を進めているにもかかわらず、不法投棄がなくなるという現状を伝える。</li> </ul>	
展開Ⅰ	40	個	<ul style="list-style-type: none"> <li>2 実物を使ってごみの分別を行う。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ これまでの学習がどの程度分別に活かされているかを確認するために、分け方の理由を児童に問う。【ポイント②】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 専門的な見地から、日頃気を付けていることや苦労していることについて話し、ごみの処理の大変さに気付かせるようにする。【ポイント⑦】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ごみの処理にかかわる対策や事業に関心を持ち、意欲的にごみの分別をしようとしている。(観察)</li> </ul>
		斉	<ul style="list-style-type: none"> <li>3 ごみ収集車の働きについて見学する。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ◇ 収集車に近づきすぎないように児童の動きに十分注意する。【ポイント③】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ ごみ収集車のはたらき等に関する児童の質問に分かりやすく回答する。</li> </ul>	
休憩	10					
展開Ⅱ	20	個別	<ul style="list-style-type: none"> <li>4 地域社会の一員としてできる具体的な方法について考える。</li> <li>① 個で考える。</li> <li>② シートに自分の考えを書く。</li> <li>③ グループで意見交換する。</li> <li>④ 「約束の木」に貼り、発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ グループの学習に入る前に、自分自身で考える時間を十分確保する。【ポイント④】</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● ごみの問題と自分たちの生活を関連づけながら、ごみを少なくする方法を考え、表現している。(学習シート等)</li> </ul>
整理	10	斉	<ul style="list-style-type: none"> <li>5 本時の振り返りをする。</li> <li>・ 教師と協会の方の話を聞く。</li> <li>・ 産業廃棄物協会の方々へ御礼を言う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ◇ 教師が本時の振り返りを担当し、協会の方が児童のがんばりを認め、身近なことから環境について考えていくことの重要性について説明する。【ポイント⑧】</li> </ul>		

★前時までの学習の振り返りや本時のまとめの時間は、担任の先生が担当するなどして、役割分担を明確に行い、効率的に学習が進められるようにしましょう。